

[招待講演] オープンソースを活用した地域産業振興の成果と課題

野田哲夫

島根大学

松江市を中心に島根県ではオープンソースのプログラミング言語 Ruby を活用した地域 IT 産業振興に取り組んでおり、地元企業の市場拡大や企業誘致などで一定の成果をあげている。Linux に代表されるオープンソースは導入コストが低いことから IT 企業に限らず広く活用が進んでいるが、これは市場がより競争的になることを意味している。その中でオープンソースも活用したシステム構築やサービスの提供で巨大な利益をあげている IT 企業は、オープンソースの開発自体にも貢献することによって市場での競争優位を獲得しているとも考えられる。本発表では、オープンソースの活用やコミュニティに対する開発貢献が企業経営に与える影響の調査研究を通じて明らかになった、日本におけるオープンソースの活用と開発貢献の実態、そしてオープンソースを活用した地域産業振興の課題について論じることとする。
